

公益財団法人

京都府国際センター

Kyoto Prefectural International Center

NEWS

Vol. 83

2017年 秋号

京都府国際センターの取り組み紹介

多文化共生社会と日本語教室

「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか？総務省は平成18年の「多文化共生の推進に関する研究会報告書」の中で「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義しています。報告書が出された背景には、今後、日本では、長期的に少子高齢化と人口減少が進む一方、国内外の様々な事情により外国人住民の更なる増加と定住化が予想されるということがあります。そのような中、様々な文化・言語的背景を持った人々が共に暮らすために、私達は、知恵を出し合い、それを実現していくことが求められています。

外国人住民が日本で生活する上で、まず乗り越えなければならないのが言葉の壁です。多言語化は進んでいますが、ほと

んど外国人住民にとってコミュニケーションに必要な日本語の習得は必須と言えます。日本語ができなければ、公共サービスや、地域で生活する上で必要な情報が得られない場合があり、公共交通、仕事、教育、病院、警察でのやり取りや災害時の対応に支障をきたす場面が多々あります。地域社会としても、言葉の壁を取り除き、外国人住民が孤立することなく暮らしていけるようになれば、多様性のある魅力的なまちづくりを行っていくことができるでしょう。このような多文化共生社会の実現のために大きな役割を果たしているのが地域の日本語教室です。

日本語教室は「多文化共生の入り口」とも言われるように、外国人住民にとって日本語能力獲得の場であるだけでなく、授業の中で、日本人や他の学習者から、日本の文化や地域社会の

ルールを学習し、どのように日本で暮らしていけばいいのかを学ぶ場でもあります。日本人住民から見れば、学習者と接することを通じて異文化に対する理解が深まる場であるということもできます。

京都府国際センターでは、国や地方自治体、国際交流協会、地域の日本語教室などと連携をして、日本語学習支援に取り組むことで多文化共生の地域づくりを進めています。

目次

- 京都府国際センターの取り組み紹介 多文化共生と日本語教室…… 1
- 多文化共生社会に向けた取り組み 多文化社会共生の拠点となる 日本語教室を目指して…… 2
- 日本語教室「空白地域」の解消に向けて…… 2～3
- 新任国際交流員のご挨拶…… 4

京都府国際センター
日本語教室の様子



京都府国際交流員着任のご挨拶

国際交流員 マヤ・ホールさん(イギリス)が着任しました。



みなさん、こんにちは。京都府庁国際課の国際交流員マヤ・ホールです。私はイギリスと日本のハーフで、ドイツの西にあるボンという小さな町で生まれました。京都がそうであったように、ボンは昔西ドイツの首都でした(1949-1990年)。日本でも有名な交響曲第9番を作ったベートーベンが生まれた町です。都心にはベートーベンの生まれた家がまだ残っているので、興味がある人は是非見に行ってください!

私は子供のころ、両親の仕事のため、日本とシンガポールと香港に住んでいて、高校生になってから、イングランド南部のロンドンとケンブリッジの真ん中にあるビショップス ストードフォート

というところの高校の寮で暮らしていました。その後、スコットランドのエジンバラ大学で言語学と日本語を勉強し、その間慶応大学に交換留学生として留学し、一年間東京にも住んでいました。大学は今年の7月に卒業して、その後すぐ京都に引っ越してきました!

小さい頃は毎年東京に行っていましたが、京都に住むのは初めてです。私は日本が大好きで、京都のように素敵な歴史ある町の文化に触れるのをほんとうに楽しみにしています。(スコットランドよりもずっと暖かいし...) 京都がどのように混然一体とした大切な歴史や伝統と、世界でも有名な日本の技術のバランスを保っているかが毎日はっきりわかるようになってきて、私はこのような町はとてめめずらしいと思います。

私はヨーロッパ、特にイングランドやスコットランド、または英語に興味がある日本のみなさんと文化や言語交流をさせていただくことを楽しみにしています。大人向けでも子供向けでも国際的なことの紹介はできますので、ご依頼をいつでもお待ちしております。

京都府国際センターからのお知らせ

無料

要申込(定員50名)

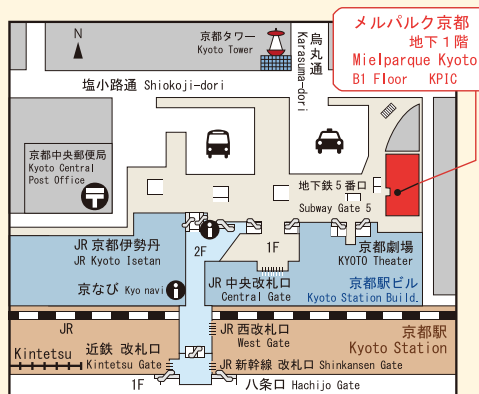
平成29年度 国際理解白熱教室 ～多文化共生と地域創生～ (3回連続講義 第2回)

講師：立命館大学大学院法務研究科 特別任用教授
立命館大学 名誉教授 薬師寺 公夫氏

テーマ：留学生のグローバル人材への成長
ー多様な思考と多言語運用能力に期待するー

日時：平成29年12月2日(土) 14時30分～16時30分
場所：立命館大学朱雀キャンパス法務研究科教室301号
申込み：FAX、Eメール、ホームページからお申し込みください。電話ではお申し込みいただけません。

➡ 詳しくは、<https://www.kpic.or.jp/>



公益財団法人 京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F(JR京都駅前 北口東側(京都劇場側))

Tel : 075-342-5000

Fax : 075-342-5050 E-mail: main@kpic.or.jp

<http://www.kpic.or.jp/>

facebook <http://www.facebook.com/kpic.kyoto>

開館時間 / 午前10時～午後6時

休館日 / 毎月第2・第4火曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

公益財団法人 京都府国際センター NEWS Autumn 2017 平成29年秋号 第83号

編集・発行 / 公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

